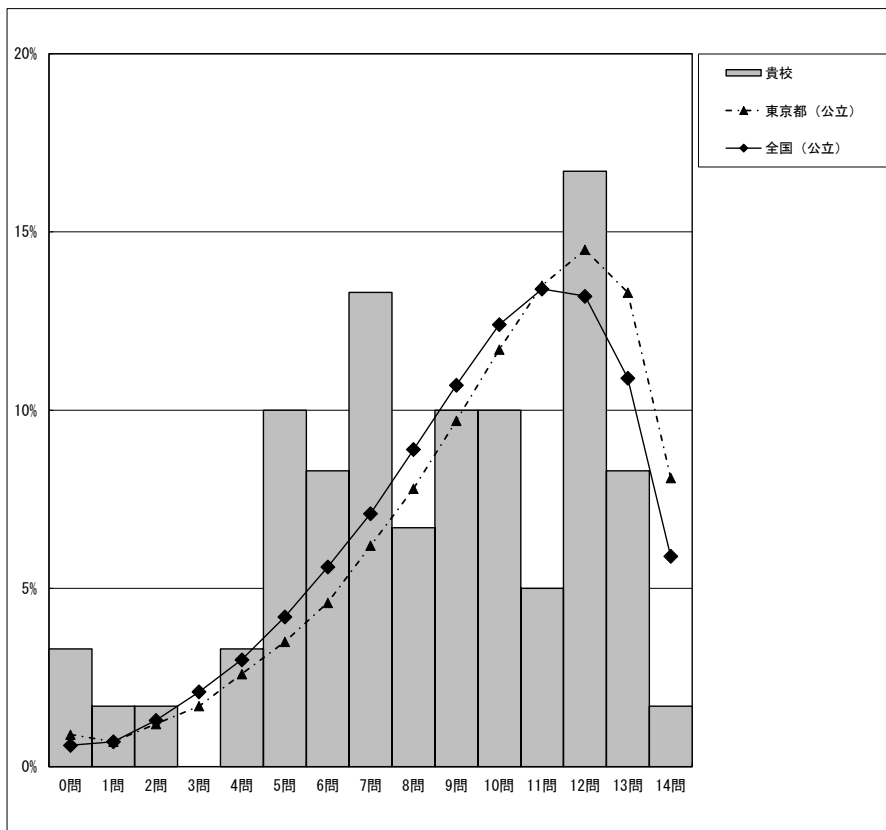


++++
調査結果概況 【国語】
 江戸川区立二之江第二小学校一児童

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を、児童を対象として集計した値である。
 ※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月30日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
江戸川区立二之江第二小学校	60	8.4 / 14	60	9.0	3.4
東京都(公立)	92,761	9.8 / 14	70	10.0	3.1
全国(公立)	947,364	9.5 / 14	67.7	10.0	3.1

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



正答数集計値				
正答数	児童数	割合(%)		
	貴校	貴校	東京都(公立)	全国(公立)
14問	1	1.7	8.1	5.9
13問	5	8.3	13.3	10.9
△ 12問	10	16.7	14.5	13.2
11問	3	5.0	13.5	13.4
10問	6	10.0	11.7	12.4
◇ 9問	6	10.0	9.7	10.7
8問	4	6.7	7.8	8.9
7問	8	13.3	6.2	7.1
▽ 6問	5	8.3	4.6	5.6
5問	6	10.0	3.5	4.2
4問	2	3.3	2.6	3.0
3問	0	0.0	1.7	2.1
2問	1	1.7	1.2	1.3
1問	1	1.7	0.7	0.7
0問	2	3.3	0.9	0.6

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	貴校	東京都(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	12.0問	12.0問	12.0問
◇ 第2四分位	9.0問	10.0問	10.0問
▽ 第1四分位	6.0問	8.0問	8.0問

上表の通り、令和6年度の平均正答率は、東京都平均から10ポイント、全国平均から7.7ポイント下回っている。観点別にみると、東京都平均から「知識及び技能」は12.6ポイント、「思考・判断・表現」は8.2ポイントの落ち込みがみられた。特に、「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、東京都平均から15ポイントも低い。

しかし昨年度と比較すると、平均正答率は5ポイント上回った。特に、「情報の扱い方に関する事項」は34.9ポイント、「書くこと」は36.2ポイント上がった。

今後の授業実践の中では、基礎的・基本的な学習内容の定着がしっかりとできるように、漢字や言語の習得時間を増やしたり、教科書の音読を重視し読むことを中心に学習を進めたりする。教師の板書を自分のノートに正確に写したり、自分の考えを分かりやすく記したり、友達との考えを交流して自分の考えとの違いを見出したりする学習を増やしていく。